

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2026年2月10日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	515,995	507,793	8,202 (1.6)	交通 +13,628 レジャー・サービス +3,808 その他 +3,400 流通 +2,119 航空関連サービス +2,079 不動産 △2,425 運送 △9,760
営業利益	31,574	38,890	△7,316 (△18.8)	運送 △6,880 不動産 △1,610 流通 △853 航空関連サービス △312 レジャー・サービス +710 その他 +735 交通 +1,077
経常利益	34,239	43,656	△9,417 (△21.6)	営業外収益 △1,025 営業外費用 +1,075
特別利益	10,358	3,366	6,991	関係会社株式交換益 +5,470
特別損失	5,502	1,397	4,104	店舗閉鎖損失引当金繰入額 +1,271 固定資産除却損 +1,197
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22,295	32,936	△10,640 (△32.3)	

営業収益 : 【増 収】 連結加入した宮城交通グループの収入寄与や鉄軌道輸送人員の増加などにより増収

営業利益 : 【減 益】 人件費や減価償却費などが増加したことにより減益

経常利益 : 【減 益】 特殊要因の剥落に伴う持分法投資利益の減少に加え、営業減益により減益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 【減 益】 特別損益は改善するものの、経常減益により減益

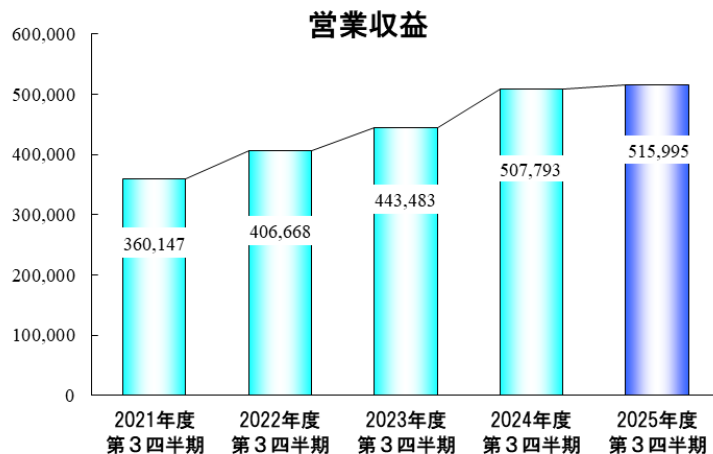
《連結子会社数》 : 108社 (増加 1社) 名鉄・ザイマックスアセットマネジメント (新規加入)
(減少 2社) 東鉄タクシー (被合併)、MUマネジメント (被合併)

《持分法適用会社数》 : 15社 (増加 1社) サポーレ (新規加入)
(減少 1社) 中京テレビ放送 (株式交換)

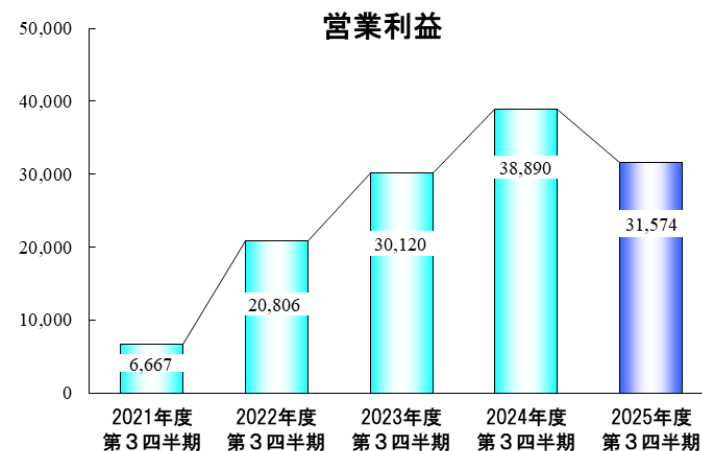


連結業績の推移

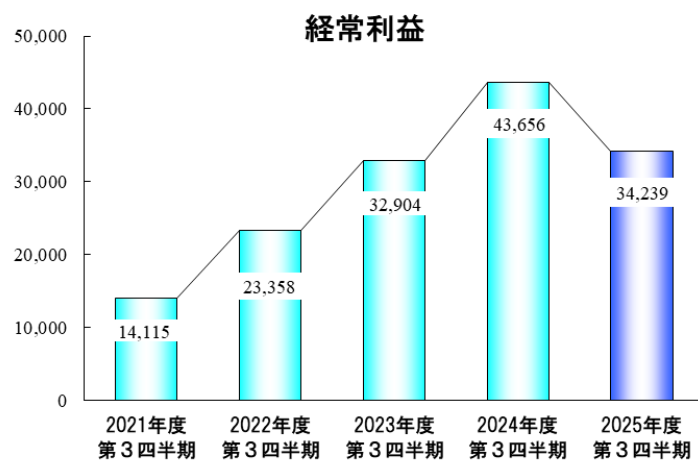
(単位：百万円)



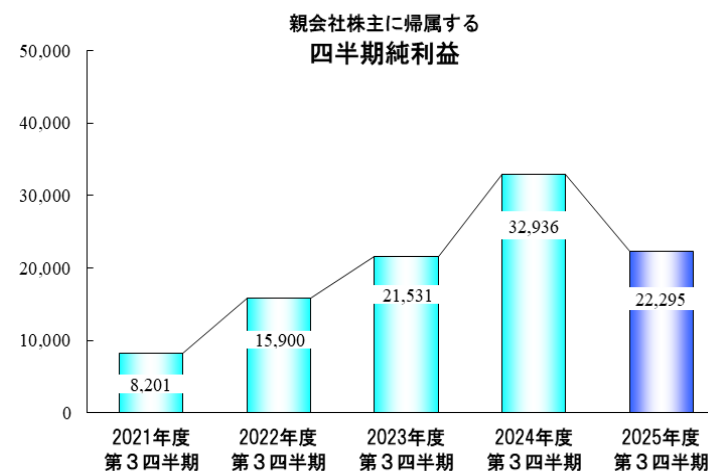
5期連続増収



5期ぶり減益



5期ぶり減益



5期ぶり減益

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

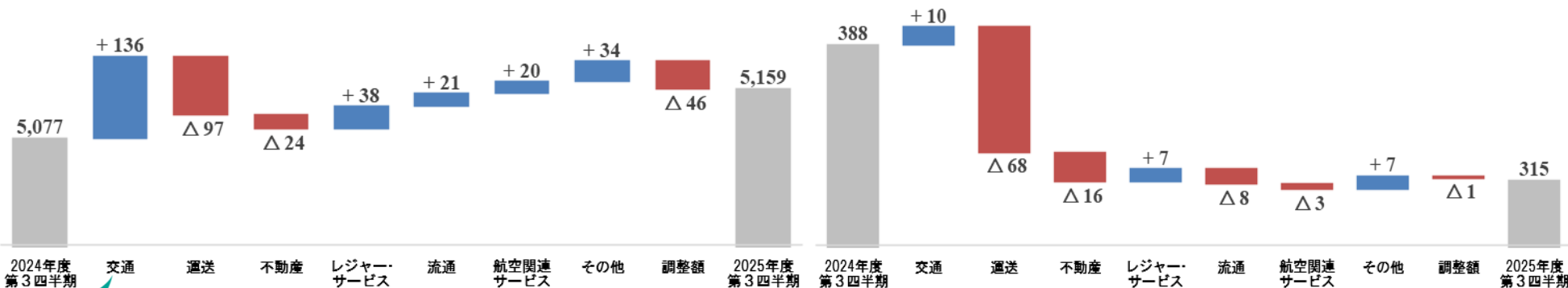
	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
交通事業	134,423	120,795	13,628	11.3	19,730	18,652	1,077	5.8
運送事業	130,363	140,123	△ 9,760	△ 7.0	△ 5,361	1,519	△ 6,880	—
不動産事業	78,924	81,349	△ 2,425	△ 3.0	10,236	11,847	△ 1,610	△ 13.6
レジャー・サービス事業	85,122	81,314	3,808	4.7	4,288	3,578	710	19.9
流通事業	53,585	51,466	2,119	4.1	△ 1,767	△ 914	△ 853	—
航空関連サービス事業	23,586	21,507	2,079	9.7	1,652	1,965	△ 312	△ 15.9
その他の事業	46,453	43,052	3,400	7.9	3,082	2,346	735	31.4
調整額	△ 36,464	△ 31,816	△ 4,647	—	△ 287	△ 104	△ 183	—
合計	515,995	507,793	8,202	1.6	31,574	38,890	△ 7,316	△ 18.8

(単位：億円)

営業収益（前年同期比）

(単位：億円)

営業利益（前年同期比）



交通事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	134,423	120,795	13,628	11.3	バス事業で前期に連結加入した宮城交通グループの収入が寄与したことに加え、鉄軌道輸送人員の増加もあり増収
営 業 利 益	19,730	18,652	1,077	5.8	人件費や修繕費が増加したものの、増収により増益

◆交通事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
鉄 軌 道 事 業	76,457	73,707	2,749	3.7	14,205	14,693	△ 487	△ 3.3
バ ス 事 業	41,988	32,132	9,855	30.7	4,413	3,322	1,091	32.8
タ ク シ ー 事 業	17,586	16,573	1,012	6.1	923	517	406	78.6
調 整 額	△ 1,607	△ 1,618	11	—	187	119	68	—
交 通 事 業 計	134,423	120,795	13,628	11.3	19,730	18,652	1,077	5.8

名古屋鉄道 運輸成績と営業費内訳 <鉄軌道事業>

◆旅客収入◆

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	41,904	39,826	5.2
通勤	24,556	24,006	2.3
通学	5,477	5,462	0.3
定期	30,033	29,468	1.9
計	71,937	69,294	3.8

※定期外旅客収入には特別車両料金を含む

◆営業費内訳◆

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減
人件費	26,172	24,888	1,283
燃料費(電力料)	5,659	5,723	△63
修繕費	4,914	4,411	503
その他経費	9,540	8,846	694
諸税	3,043	3,005	37
減価償却費	11,546	10,789	757
計	60,877	57,664	3,212

◆輸送人員(全線)◆

(単位：千人、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	94,734	90,713	4.4
通勤	113,832	112,193	1.5
通学	77,141	76,623	0.7
定期	190,973	188,817	1.1
計	285,707	279,530	2.2

◆輸送人員(空港線)◆

(単位：千人、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	7,109	6,436	10.5

運送事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	130,363	140,123	△ 9,760	△ 7.0	トラック事業における貨物取扱量の減少により減収
営 業 利 益	△ 5,361	1,519	△ 6,880	—	トラック事業の収支悪化により全体では赤字化

◆運送事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
ト ラ ッ ク 事 業	143,787	151,792	△ 8,005	△ 5.3	△ 6,721	△ 40	△ 6,681	—
海 運 事 業	14,811	14,677	134	0.9	1,250	1,658	△ 407	△ 24.6
調 整 額	△ 28,235	△ 26,345	△ 1,889	—	108	△ 98	207	—
運 送 事 業 計	130,363	140,123	△ 9,760	△ 7.0	△ 5,361	1,519	△ 6,880	—

不動産事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	78,924	81,349	△ 2,425	△ 3.0	賃貸事業は増収となったものの、分譲マンション販売の引渡戸数の減少により減収
営 業 利 益	10,236	11,847	△ 1,610	△ 13.6	分譲事業の減収による減益

◆不動産事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
賃 貸 事 業	48,108	42,382	5,725	13.5	7,929	7,578	350	4.6
分 譲 事 業	26,918	34,749	△ 7,830	△ 22.5	1,721	3,863	△ 2,141	△ 55.4
管 理 事 業	11,568	11,200	368	3.3	468	391	77	19.7
調 整 額	△ 7,671	△ 6,982	△ 688	—	117	13	103	—
不 動 産 事 業 計	78,924	81,349	△ 2,425	△ 3.0	10,236	11,847	△ 1,610	△ 13.6

<名鉄都市開発 分譲マンション販売>

(単位：戸、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	増減率
引 渡 戸 数 (計)	523	567	△ 44	△ 7.8
名 古 屋	206	71	135	190.1
首 都 圏	136	398	△ 262	△ 65.8
関 西	181	98	83	84.7

<名鉄協商 駐車場保有台数・件数>

(単位：%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減率
保 有 台 数 (台)	92,331	90,389	2.1
保 有 件 数 (ヶ所)	3,999	3,906	2.4



レジャー・サービス事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	85,122	81,314	3,808	4.7	観光需要の回復により、ホテル業や観光施設事業を中心に増収
営 業 利 益	4,288	3,578	710	19.9	旅行業で減益となったものの、ホテル業や観光施設事業の増益により全体では増益

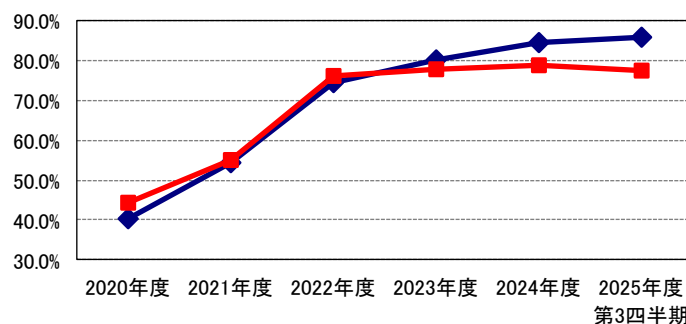
◆レジャー・サービス事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

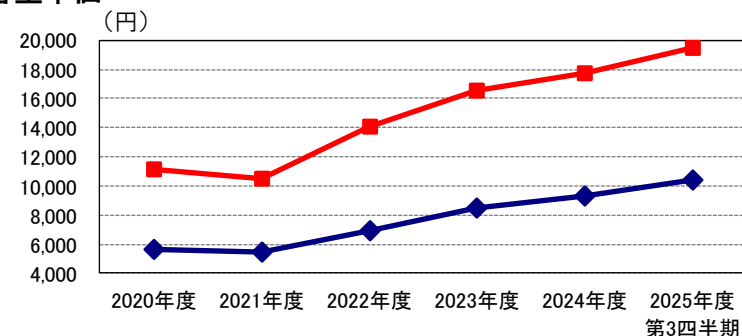
	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
ホ テ ル 業	19,732	18,453	1,279	6.9	1,810	1,351	459	34.0
観 光 施 設 事 業	17,523	16,131	1,392	8.6	1,457	958	498	52.0
旅 行 業	48,339	47,133	1,206	2.6	1,043	1,281	△ 237	△ 18.6
調 整 額	△ 473	△ 403	△ 70	—	△ 22	△ 13	△ 8	—
レジャー・サービス事業 計	85,122	81,314	3,808	4.7	4,288	3,578	710	19.9

<名古屋市内主要グループホテルの客室稼働率・平均客室単価>

客室稼働率



平均客室単価



流通事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	53,585	51,466	2,119	4.1	百貨店業における名鉄百貨店本店の閉店セールが盛況に推移したことなどもあり増収
営 業 利 益	△ 1,767	△ 914	△ 853	—	その他物品販売の収支悪化などにより赤字幅拡大

◆流通事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
百 貨 店 業	13,865	12,360	1,505	12.2	△ 839	△ 1,248	408	—
そ の 他 物 品 販 売	40,124	39,244	879	2.2	△ 441	391	△ 833	—
調 整 額	△ 404	△ 138	△ 265	—	△ 485	△ 57	△ 428	—
流 通 事 業 計	53,585	51,466	2,119	4.1	△ 1,767	△ 914	△ 853	—

航空関連サービス事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	23,586	21,507	2,079	9.7	ヘリコプター事業や機内食事業での受注増加などにより増収
営 業 利 益	1,652	1,965	△ 312	△ 15.9	増収となったものの、修繕費の増加などにより減益

◆航空関連サービス事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
航空関連サービス事業	23,837	21,762	2,075	9.5	1,645	1,957	△ 311	△ 15.9
調 整 額	△ 251	△ 255	3	—	6	7	△ 0	—
航空関連サービス事業 計	23,586	21,507	2,079	9.7	1,652	1,965	△ 312	△ 15.9

その他の事業

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	摘 要
営 業 収 益	46,453	43,052	3,400	7.9	システム関連の受注が増加したほか、設備保守整備事業で前期に連結加入した宮城交通グループの収入が寄与し増収
営 業 利 益	3,082	2,346	735	31.4	増収による増益

◆その他の事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
設備保守整備事業	24,347	22,663	1,684	7.4	1,322	1,076	246	22.9
そ の 他	22,914	20,977	1,937	9.2	1,813	1,326	487	36.7
調 整 額	△ 808	△ 588	△ 220	—	△ 53	△ 55	1	—
その他の事業計	46,453	43,052	3,400	7.9	3,082	2,346	735	31.4

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期	前期末	増減額	摘 要
流 動 資 産	259,884	256,417	3,467	有価証券の増加
固 定 資 産	1,291,252	1,192,491	98,761	
有形固定資産	1,080,516	997,980	82,535	設備投資による増加
無形固定資産	15,549	14,952	597	
投資その他の資産	195,186	179,558	15,628	保有上場株式の時価上昇
資 産 合 計	1,551,137	1,448,908	102,229	
流 動 負 債	345,102	356,386	△ 11,284	支払手形及び買掛金の減少
固 定 負 債	688,817	594,210	94,607	社債の発行 長期借入金の増加
負 債 合 計	1,033,919	950,597	83,322	
純 資 産 合 計	517,217	498,311	18,906	親会社株主に帰属する四半期純利益 +22,295 剰余金の配当 △7,549
負 債 純 資 産 合 計	1,551,137	1,448,908	102,229	
連結有利子負債合計	669,124	589,547	79,577	〔参考〕純有利子負債残高 621,248 (前期末比 +90,339)

2026年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2025年度 今回予想	2024年度 実績	増減	(対前期)
営業収益	695,000	690,720	4,280 (0.6)	交通 +16,575 レジャー・サービス +3,718 航空関連サービス +1,919 その他 +1,127 流通 +988 運送 △4,583 不動産 △11,928
営業利益	34,000	42,076	△ 8,076 (△19.2)	不動産 △5,447 運送 △3,579 流通 △408 航空関連サービス +34 その他 +178 交通 +198 レジャー・サービス +654
経常利益	34,000	47,671	△ 13,671 (△28.7)	営業外収益 △3,362 営業外費用 +2,233
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,000	37,733	△ 16,733 (△44.3)	特別利益 △4,164 特別損失 △1,095
E B I T D A	80,800	83,900	△ 3,100 (△3.7)	※E B I T D A：営業利益＋減価償却費
設備投資額	178,200	121,455	56,745 (46.7)	
減価償却費	46,800	41,824	4,976 (11.9)	
純有利子負債	618,000	530,909	87,091 (16.4)	※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券

連結業績予想は前回公表値（2025年11月7日）を据え置き。



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。